

統計コラム4コマ

今回のテーマ 社会に役立つ統計データ

登場人物



ジロー

統計課がいばらきクリエイターズハウスと一緒で作った小説『異世界統計数値』の主人公。王位継承候補者の一人だが、なぜインコなのかは謎。



ルアン

ジローの従者として任命されたが、出世を望むルアンとしてはインコに仕えることにやや不満。



4コマ漫画・イラスト kalo

1 意外と知らない統計調査の流れ

統計調査にこれまで協力いただいた方でも、統計調査の流れについてご存知の方はあまりいないのではないかと思います。

まず、統計調査を調査対象の範囲で分類すると、**全数調査**と**標本調査**の二種類があります。

全数調査は、文字通り対象となる全てに調査を依頼します。日本に常住している全ての方々に調査を行う国勢調査がその代表です。

一方、標本調査は対象の一部を調査するもので、調査結果から全体像を推計して把握します。平成30年度には住宅・土地統計調査がありますが、これは標本調査で、茨城県内では約10万戸の方々に調査をお願いすることになります。

行政機関による統計調査の流れの例

- 1 調査の企画や設計**
調査の目的、対象、時期、調査項目や方法を検討します。
- 2 調査の準備と実施**
調査関係用品を準備し統計調査員などを任命します。統計調査員は調査対象に調査票を配布し、記入済のものを回収します。調査によっては郵送やインターネットを使用する場合があります。
- 3 調査票の審査と集計**
調査票に誤りがないかなどを審査し、それらを集計します。
- 4 調査結果の公表**
大規模な統計調査では、公表まで1年程度を要します。速報や概要を先に公表する場合があります。

テーマカケトケイ!



2 仕事に役立つ統計データ

行政はもちろんのことビジネスの世界でも、統計データという証拠に基づいて意思決定をすることが重要であり、統計データは様々な場面で活用されています。

1 行政に役立つ統計データ



記憶にも新しい東日本大震災では全国で約2万人の方々がお亡くなりになり、未だに2千5百人を超える方々が行方不明になっています。いつか来るかもしれないと言われている首都直下地震では、建物倒壊による死者が最大約1万1千人、火災による死者が最大約1万6千人と言われています。

行政の使命の一つは、市民の生命や財産を守ることですが、防災対策はその代表です。防災対策でまず重要なことは、被害の想定をすることで、そのためには、地域の正確な状況を把握することが必要です。

災害による被害の大きさは、人口、人口密度、建築物の種類、また災害の起こる時刻などによっても、大きく異なります。また、通勤や通学などの影響により昼と夜の人口が著しく異なる都市部においては、災害がいつ発生しても十分に対応できるよう、防災の備えをしなければなりません。

こうしたことを把握する基礎資料として、国勢調査で得られる人口や人口密度、昼と夜の人口、住宅・土地統計調査で得られる木造建物数や非木造建物数などが活用されています。

他にも、行政では、様々な計画や施策の根拠として統計データを活用するほか、衆議院小選挙区の区割りや、年金給付額の算定など、様々な分野で活用しています。

2 ビジネスに役立つ統計データ



ビジネスといっても様々な業種がありますが、一番身近なのは、物やサービスを売る仕事ではないでしょうか。スーパーや飲食店が代表です。お店の売上げを左右する要因は、商品や販売方法、店舗の大きさ、店員のサービスなど様々なことが考えられます。しかし、取扱う商品や販売方法、店の大きさがほぼ統一化されているチェーン店などであっても、売上げは店舗によって異なります。

この売上げの違いとなる大きな要因の一つは「立地」です。立地が悪いと売上げはなかなか上がりません。また、一度作った店舗を閉鎖し、別の場所での店舗の新設は大きなコストを伴うため、出店を計画する際は、慎重に立地を検討する必要があります。






そこで、立地の検討に当たっては、まず出店を計画している地域内の人口や年齢構成、昼間と夜間の人口、世帯数、学生数など人に関わる基礎的な情報とともに、ライバル店などの出店動向などを踏まえることが必要であり、その際には国勢調査や経済センサスなどの統計データが用いられることがあります。

茨城県のコンビニエンスストア数(人口10万人当たり)は、30.8店で全国第6位ですが、なぜ茨城県はコンビニ数が多いのか、コンビニ業界の人に聞きました。

茨城県は、人口が全国第11位で比較的大規模なことに加え、可住地面積が第4位で平らな土地が多く、道路実延長は第2位、自家用乗用車数は第3位であり、ロードサイド店舗であるコンビニは立地しやすく、また多数の来客が見込めるとのことでした。確かに車通りが多い地区では、コンビニが数百メートル置きに立地していることもありますね。

他にも、マーケティング、生命保険などの保険料率の算定、スポーツの戦略決定、インターネットで商品を購入する際のレコメンド機能など、様々な場面で統計データが活用されています。

こんなに役立つ統計データ

統計調査の名称	調査の目的	活用事例
 国勢調査	国内の人口及び世帯の実態を把握する全数調査	人口予測、防災対策などの行政上の施策、出店計画やマーケティングなどの経営戦略、他の統計を作成するための基礎資料など
 経済センサス	事業所数などの基礎的情報や、売上などの経済活動を把握する全数調査	出店計画やマーケティングなどの経営戦略、中小企業への融資や補助金交付、賃金引上げや引下げなどの雇用施策など
 住宅・土地統計調査	住宅や土地の保有状況、居住の実態などを把握する標本調査	防災対策などの行政上の施策、住宅市場の研究、自治体の空家対策、高齢社会におけるバリアフリー推進など
 社会生活基本調査	生活時間の配分や自由時間における活動内容を把握する標本調査	出店計画やマーケティングなどの経営戦略、ワークライフバランスや男女共同参画などの行政上の施策、社会学や家政学の研究など
 家計調査	家計収支の実態を把握する標本調査(家計簿のような調査票)	特に食品関連企業のマーケティングなどの経営戦略、食料需給動向の研究、賃金や基礎年金額決定の資料など

全数調査と標本調査については  でおさらいできるよ!



3 統計調査を支える統計調査員

内閣府の調査によれば、平成元年には「統計調査に回答したくない」という割合が11.3%であったものが、平成21年には23.1%（「どちらかといえば回答したくない」17.7%、「回答したくない」5.4%の合計）に増えています。

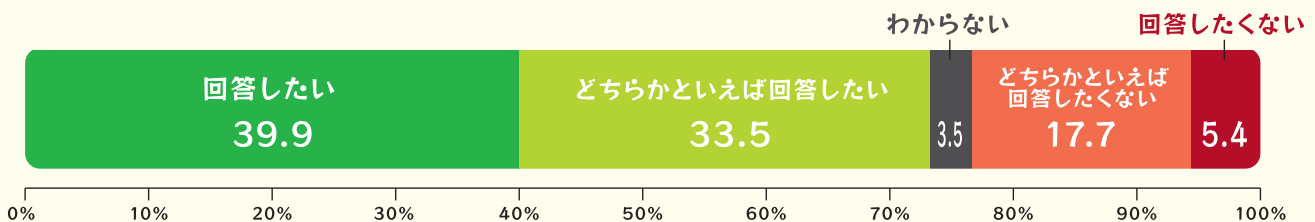
統計調査員からの聞き取りによれば、個人情報流出の懸念から調査に協力いただけないケースや、オートロックマンションや共働き世帯などの増加で、統計調査員が調査世帯と会えないケースが増えているとのこと。

茨城県内には7千人を超える方々が統計調査員として登録していますが、統計調査員は調査現場の最前線で、各家庭や

事業所を訪問して、調査票の配布や記入依頼、回収や点検といった最も基本的かつ重要な部分を受け持っています。

統計データは様々な場面で活用されていますが、調査に協力をいただけない方が増えると調査結果の信頼性が低くなり、施策の方向性にも影響を与えかねません。

統計調査員は非常勤の公務員で、統計法において一般の公務員と同様の守秘義務が課されますので、家庭や職場に調査員が訪問した際は、安心して統計調査に協力をお願いします。



出典：統計調査の協力に関する特別世論調査（平成21年12月内閣府）

お問い合わせ

茨城県企画部統計課普及情報グループ ☎029-301-2637 WEB [いばらき統計情報ネットワーク](#) [検索](#)

いせかいとうけいおぞえうた
統計小説・異世界統計数唄はこちら



統・異世界統計数唄はこちら

